

3.11 成長ホルモン治療用意見書(初回) 医療意見書

3.11.1 低身長症およびターナー症候群

豆科 小児慢性特定疾患(成長ホルモン・初回)医療意見書(平成10年度) 県単独事業

都道府県: 指定都市 中核市番号: [] 保健所番号: 37 市立函館保健所 受給者番号: 1

新規() 新規診断() 転入() 継続() 無記入() 他()

患者(ふりがな・氏名): [] 男 無記入 生年: 昭和 1 年 5 月 3 日
 女 月日: 平成 (満 9 歳 1 ヶ月)

発病: 昭和 平成 4 年 5 月頃 (満 3 歳 0 ヶ月)

暦年齢: 9 歳 0 ヶ月 実年齢: 8 歳 10 ヶ月 骨/暦年齢: 98%

ICD疾患名: ターナー(Turner)症候群
 (疾患名): ターナー(Turner)症候群 ICD: Q96

身長: 105.5 cm (-3.0SD値: 114.9 -2.5SD値: 117.6 -2.0SD値: 120.3 (身長SD知7- 3.5SD 4.8SD))
 体重: 13.0 kg 標準体重: 12.3 kg 肥満度: +6% 胸/指数: (平成 10 年 6 月 2 日測定)

1年前の身長: 98.3 cm (平成 9 年 7 月 6 日測定) 成長率: 7.4 cm/年 補正成長率: 7.9 cm/年 -1.5SD値: 4.3
 2年前の身長: 89.2 cm (平成 8 年 6 月 23 日測定) 成長率: 8.3 cm/年 補正成長率: 8.7 cm/年 -1.5SD値: 4.5

症状性低血球 有 無 無記入 二次性徴 有 無 無記入

父親の身長: 165.3 cm 母親の身長: 168.8 cm 在胎週数: 43 出生体重: 1.3 kg 出生身長: 17.8 cm

1.成長ホルモン分泌不全性低身長症(下垂体性小人症)および成長ホルモン分泌不全を伴ったターナー症候群

薬名	ケルゴン	L-DOPA	ケルゴン・プロアラロール
GH濃度	12.4 ng/ml	23.6 ng/ml	23.8 ng/ml
補正値	13.7 ng/ml	26.9 ng/ml	27.2 ng/ml

測定GH (ng/ml) 12.5 20 13.5 40 11.5 60 12.3 80 14.5 100 13.3 120 14.2 140 15.7 160 14.3 180 12.4 平均 11.2
 標準 13.8 15.0 12.6 13.8 16.2 14.8 15.8 17.6 16.0 13.7 14.9

血清IGH (ng/ml) 7.4 4.5 4.8 GH 栄研RIA 栄研IRMA ダイネウジアRIA

IGF-1 (ng/ml) 144 IGFBP-3 7.2 μg/ml IGF 第一ウチIRMA 第二IRMA 日立化成ウチIRMA
 日本DEC-CL 複数に○ 無記入、その他

出生胎児 頭位 骨盤位 横切 その他 不明 無記入、他 新生児程度 軽 中 重 不明 無記入、他

出生月経 有 無 不明 無記入、他 異変 有 無 不明 無記入、他

甲状腺機能 T4 55 μg/dl freeT4 3.7 ng/dl 脳の器質的疾患・画像診断の異常 有 無 無記入、他
 T3 2.9 ng/ml TSH 8.2 μU/ml 特異性 統括性 () 内のみ記載有り 無記入、他

診断日: 平成 10 年 6 月 2 日

次の医療意見書を入力 開始

- 項目別入力方法
- 平成 年度 - - - - - 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている年度を表示します。
 - 都道府県・指定都市・中核市番号 - - - - - 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている都道府県・指定都市中核市番号を表示します。
 - 保健所番号 - - - - - リストより選択または半角数字の右詰で、そのまま入力します。
 - 受給者番号 - - - - - 半角数字の右詰で、そのまま入力します。
 - 新規・継続 - - - - - [新規診断]、[転入]、[継続]、[無記入・他] のいずれかを選びます。「継続」を選んだ場合、過去最新の意見書の内容を参照表示します。必要箇所を変更し、登録することができます。
 - 県単独事業 - - - - - 各都道府県等での単独事業の場合のみ入力します。
 - 患者(ふりがな・氏名) - - - - 各都道府県等で必要な場合のみ入力します。プライバシー保護のため、中央

へは出力しません。

男 女 - - - - - [男]、[女]、[無記入・他] のいずれかを選びます。

生年月日 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y年m月d日] は半角数字の右詰で、そのまま入力します。

発 病 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y年m月頃] は半角数字の右詰で、そのまま入力します。

ICD疾患名 (疾患名) - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。下段に表示用疾患名と ICD コードが自動表示されます。

ICDコード - - - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。表示用疾患名が自動表示されます。

暦年齢 歳 ヶ月 - - - - - 半角数字の右詰で入力します。

骨年齢 歳 ヶ月 - - - - - 半角数字の右詰で入力します。

骨/暦年齢 - - - - - 「骨年月齢」 ÷ 「暦年月齢」 × 100(%) が自動表示されます。

身 長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

-3.0SD ・ -2.5SD ・ -2.0SD - - 「年月齢」 が自動的に算出できる場合、男女別に「標準身長」の-3.0SD 値、-2.5SD 値、-2.0SD 値が自動表示されます。

身長SDスコア(.) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* ± に関係なく入力します。9.9 以上は「9.9」で入力します。)

身長SDスコア - - - - - 「年月齢」 が自動的に算出できる場合、「男女」、「身長」を入力することにより、「身長SDスコア」が自動表示されます。

体 重(. kg) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* 99.9kg 以上は「99.9」で入力します。)

標準体重 - - - - - 「年齢」 が自動的に算出できる場合、「身長」を入力することにより「標準体重」が自動表示されます。
(ただし、身長70cm 以上～17歳の場合)

肥満度 - - - - - 「標準体重」 が自動的に算出できる場合、「体重」を入力することにより「肥満度」が自動表示されます。

カウプ指数 - - - - - 身長70cm 未満の場合、「体重」と「身長」を入力することにより「カウプ指数」が自動表示されます。

測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

1年前の身長(cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

1年前成長率(cm/年) - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* 9.9 以上は「9.9」で入力します。)

補正成長率 - - - - - 1年前と今回の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、日割り計算に基づく「補正成長率(. cm/年)」が自動表示されます。

-1.5SD - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「骨年月齢」等に基づき、約半年前の成長率の年月齢別標準値の-1.5SD値(. cm)が自動表示されます。

2年前の身長(cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

2年前成長率(cm/年) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* 9.9以上は「9.9」で入力します。)

補正成長率 - - - - - 2年前と1年前の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、日割り計算に基づく「補正成長率(. cm/年)」が自動表示されます。

-1.5SD - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「骨年月齢」等に基づき、約1年半前の成長率の年月齢別標準値の-1.5SD値(. cm)が自動表示されます。

症候性低血糖 - - - - - [有]、[無]、[無記入、他]のいずれかを選びます。

二次性徴 - - - - - 同上

父親の身長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

母親の身長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

在胎週数 - - - - - 半角数字(2桁)の右詰で入力します。

出生体重(. kg) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

出生身長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

成長ホルモン分泌不全性低身長症(下垂体性小人症)および
成長ホルモン分泌不全を伴ったターナー症候群

GH - - - - - 負荷名1: [アルギニン]、[グルカゴン]、[L-DOPA]、[クロニジン]、[インスリン]、[グルカゴン・プロプラノロール]、[インスリン・プロプラノロール]、[GRH負荷]、[無記入、他]のいずれかを選びます。

GH頂値(. ng/ml) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字(3桁)の右詰で入力します。
(例: 8.0は「08.0」で入力します。)

補正值 : 画面表示の補正式に基づき、GH頂値を補正した値が自動表示されます。

GH - - - - - 負荷名2: 「負荷名1」に同じです。

GH - - - - - 負荷名3: 「負荷名1」に同じです。

夜間 GH(. ng/ml) 0m - - 小数点 2 位以下は切り捨てて、半角数字 (3 桁) の右詰で入力します。
(* 9 9.9 以上は 「 9 9.9 」 で入力します。)

補正值 : 画面表示の補正式に基づき、GH 頂値を補正した値が自動表示されます。

夜間 GH(. ng/ml)20m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)40m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)60m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)80m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)100m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)120m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)140m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)160m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)180m - - 同 上

夜間 GH(. ng/ml)平均 - - 同 上

夜間 GH 補正值 - - - - - 上記の補正值が 8 個以上ある場合、補正值が 1.9 以下は 1 を、2.0 以上はそのままの値を用いた平均値が自動表示されます。

尿中 GH(. pg/mgCr)1 - - 小数点 2 位以下は切り捨てて、半角数字 (3 桁) の右詰で入力します。
(* 9 9.9 以上は 「 9 9.9 」 で入力します。)

尿中 GH(. pg/mgCr)2 - - 同 上

尿中 GH(. pg/mgCr)3 - - 同 上

IGF-I(ng/ml) - - - - - 小数点以下は切り捨てて、半角数字 (3 桁) の右詰で入力します。
(例 : 3 は 「 0 0 3 」、 9 9 9 以上は 「 9 9 9 」 で入力します。)

IGFBP-3(. μ g/ml) - - - - 小数点 2 位以下は切り捨てて、半角数字 (2 桁) の右詰で入力します。
(* 9.9 以上は 「 9.9 」 で入力します。)

GH キット - - - - - [栄研 RIA]、[栄研 IRMA]、[ダイナボット RIA]、[第一ラジオ IRMA]、[東ソー IEMA]、[日立化成ヒタザイム]、[日本 DPC・CL]、[複数に ○]、[無記入、その他] のいずれかを選びます。

出生胎位 - - - - - [頭位]、[骨盤位]、[帝切]、[その他]、[不明]、[無記入、他] のいずれかを選びます。
(* 骨盤位と帝切・その他に ○ の記載がある場合も、[骨盤位] を選択します。同様に帝切と頭位・その他に ○ の記載がある場合、[帝切] を選択します。)

新生児仮死 - - - - - [有]、[無]、[不明]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

新生児黄疸 - - - - - [軽]、[中]、[重]、[不明]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

遷 延 - - - - - [有]、[無]、[不明]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

T 4(μ g/dl) - - - - - 小数点以下は切り捨てて、半角数字（2桁）の右詰で入力します。

f T 4(. ng/dl) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字（2桁）の右詰で入力します。

T 3(. ng/ml) - - - - - 同 上

T SH(. μ U/ml) - - - - 同 上

脳の器質的疾患・ - - - - [有]、[無]、[無記入、他] のいずれかを選びます。
画像診断の異常 (*疾患または画像等のみに○の記載がある場合も、[有] を選択します。)

特発性・続発性 - - - - - [特発性]、[続発性]、[()内のみ記載有り]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

3.11.2 軟骨異栄養症

登録 小児慢性特定疾患(成長ホルモン・初回)医療意見書(平成 10年度) 単独事業

都道府県 指定都市 中核市番号 1 保健所番号 36 市町村保健所 受給者番号 1

新規 新規診断 転入 継続 無記入・他

患者(ふりがな) 性別 男 無記入 女 生年月日 昭和 平成 (満 9 歳 6 ヶ月)

発病 昭和 平成 6 年 5 月頃 (満 5 歳 3 ヶ月)

暦年齢 5 歳 1 ヶ月 骨年齢 5 歳 2 ヶ月 骨/暦年齢 54%

ICD疾患名 軟骨異栄養症 (疾患名) 軟骨異栄養症 ICD: Q77.4

身長 98.5 cm -3.0SD値: 116.3 -2.5SD値: 119.1 +2.0SD値: 121.8 (身長SDスワ- 3.5SD 6.3SD)

体重 8.0 kg 標準体重 7.9 kg 肥満度: +1% カ7 指数: (平成 10 年 7 月 14 日測定)

1 年前の身長 93.2 cm (平成 9 年 6 月 15 日測定) 成長率 5.1 cm/年 補正成長率 4.8 cm/年 -1.5SD値: 4.2

2 年前の身長 86.3 cm (平成 8 年 5 月 6 日測定) 成長率 4.5 cm/年 補正成長率 6.2 cm/年 -1.5SD値: 4.4

症候性低血糖 有 無 無記入 二次性徴 有 無 無記入

父親の身長 165.3 cm 母親の身長 187.6 cm 在胎週数 43 出生体重 1.2 kg 出生身長 17.6 cm

2. 軟骨異栄養症

	脳外型 脳形外型 区別診断およびコメント	手術の必要性
大血管狭窄	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無記入・他	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他
脊椎管狭窄	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無記入・他	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他
水頭症	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無記入・他	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他
腎臓・馬尾圧迫	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無記入・他	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他
神経障害	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無記入・他	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無記入・他
MRI の所見	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無記入・他	適子診断
その他	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無記入・他	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 0 内のみ記載有り <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 無記入・他

診断日: 平成 10 年 8 月 7 日

項目別入力方法

平成 年度 - - - - - 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている年度を表示します。

都道府県・指定都市・中核市番号
 - - - - - 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている都道府県・指定都市
 中核市番号を表示します。

保健所番号 - - - - - リストより選択または半角数字の右詰で、そのまま入力します。

受給者番号 - - - - - 半角数字の右詰で、そのまま入力します。

新規・継続 - - - - - [新規診断]、[転入]、[継続]、[無記入・他] のいずれかを選びます。
 「継続」を選んだ場合、過去最新の意見書の内容を参照表示します。
 必要箇所を変更し、登録することができます。

県単独事業 - - - - - 各都道府県等での単独事業の場合のみ入力します。

患者(ふりがな・氏名) - - - - 各都道府県等で必要な場合のみ入力します。プライバシー保護のため、中央
 へは出力しません。

男 女 - - - - - [男]、[女]、[無記入・他] のいずれかを選びます。

生年月日 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y 年 m 月 d 日] は半角数字の右詰で、そのまま入

力します。

- 発 病 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y年m月頃] は半角数字の右詰で、そのまま入力します。
- ICD疾患名 (疾患名) - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。下段に表示用疾患名と ICD コードが自動表示されます。
- ICDコード - - - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。表示用疾患名が自動表示されます。
- 暦年齢 歳 ヶ月 - - - - - 半角数字の右詰で入力する。
- 骨年齢 歳 ヶ月 - - - - - 半角数字の右詰で入力します。
- 骨/暦年齢 - - - - - 「骨年月齢」÷「暦年月齢」×100(%)が自動表示されます。
- 身 長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
- 3.0SD ・ -2.5SD ・ -2.0SD - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、男女別に「標準身長」の-3.0SD 値、-2.5SD 値、-2.0SD 値が自動表示されます。
- 身長SDスコア(.) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*±に関係なく入力します。9.9以上は「9.9」で入力します。)
- 身長 SD スコア - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「身長」を入力することにより、「身長 SD スコア」が自動表示されます。
- 体 重(. kg) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*99.9kg 以上は「99.9」で入力します。)
- 標準体重 - - - - - 「年齢」が自動的に算出できる場合、「身長」を入力することにより「標準体重」が自動表示されます。
(ただし、身長70cm 以上~17歳の場合)
- 肥満度 - - - - - 「標準体重」が自動的に算出できる場合、「体重」を入力することにより「肥満度」が自動表示されます。
- カウプ指数 - - - - - 身長70cm 未満の場合、「体重」と「身長」を入力することにより「カウプ指数」が自動表示されます。
- 測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。
- 1年前の身長(cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
- 測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。
- 1年前成長率(cm/年) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*9.9以上は「9.9」で入力します。)
- 補正成長率 - - - - - 1年前と今回の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、日割り計算に基づく「補正成長率(. cm/年)」が自動表示されます。
- 1.5SD - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「骨年月齢」等に基づき、約半年前の成長率の年月齢別標準値の-1.5SD 値(. cm)が自動表示されます。

2年前の身長(cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

2年前成長率(cm/年) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* 9.9以上は「9.9」で入力します。)

補正成長率 - - - - - 2年前と1年前の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、
日割り計算に基づく「補正成長率(. cm/年)」が自動表示されます。

-1.5SD - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「骨年月齢」等に基づき、
約1年半前の成長率の年月齢別標準値の-1.5SD 値(. cm)が自動表示され
れます。

症候性低血糖 - - - - - [有]、[無]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

二次性徴 - - - - - 同 上

父親の身長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

母親の身長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

在胎週数 - - - - - 半角数字(2桁)の右詰で入力します。

出生体重(. kg) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

出生身長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

軟骨異栄養症

脳外科医等のコメント

(大孔狭窄) - - - - - [無]、[有]、[()内のみに記載有り]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

(脊椎管狭窄) - - - - - 同 上

(水頭症) - - - - - 同 上

(脊髄・馬尾圧迫) - - - - - 同 上

(神経障害) - - - - - 同 上

(MRI・CTの所見) - - - - - 同 上

(その他) - - - - - 同 上

手術の必要性

(大孔狭窄) - - - - - [無]、[有]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

(脊椎管狭窄) - - - - - 同 上

(水頭症) - - - - - 同 上

(脊髄・馬尾圧迫) - - - - - 同 上

(神経障害) - - - - - 同 上

遺伝子診断 - - - - - [有]、[()内のみに記載有り]、[無]、「無記入、その他」のいずれかを選
びます。

3.11.3 低身長を従う慢性腎不全

登録 小児慢性特定疾患(成長ホルモン・初回)医療意見書 (平成 10年度) 県単独事業

都道府県 指定都市 中核市番号 保健所番号 医療機関 受給者番号

新規(新規診断 転入) 継続 無記入・他

患者(ふりがな・氏名) 男 無記入 生年
 女 月日

発病 昭和 平成 5年 2月頃(満 4歳 0ヶ月)

発症年 年齢 / 発症年

ICD疾患名:
 (疾患名): ICD:

身長 cm -3.0SD値: 116.9 -2.5SD値: 119.7 -2.0SD値: 122.5 (身長SDを7- 3.5 SD 5.2SD)
 体重 kg 標準体重: 12.0 kg 肥満度: +12% 助産指数: (平成 10年 9月 20日測定)

1年前の身長 cm (平成 9年 6月 7日測定) 成長率: cm/年 補正成長率: cm/年 -1.5SD値: 4.1
 2年前の身長 cm (平成 8年 3月 5日測定) 成長率: cm/年 補正成長率: cm/年 -1.5SD値: 4.6

症状性低血圧 有 無 無記入 二次性徴 有 無 無記入

父親の身長 cm 母親の身長 cm 在胎週数 出生体重 kg 出生身長 cm

3.低身長を伴う慢性腎不全

治療期 保存療法 腹膜透析療法のみ 血液透析療法のみ 無記入・他
 腹膜・血液透析療法 腹膜透析療法のみ 血液透析療法のみ

腎機能検査 平成 10年 5月
 Cr ml/min/1.73m
 測定法 24時間Cr 2時間Cr
 血清クレアチニン値換算 上記、複数に 無記入・他
 血清クレアチニン mg/dl BUN mg/dl

診断日 平成 10年 9月 21日

項目別入力方法

平成 年度 - - - - - 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている年度を表示します。

都道府県・指定都市・中核市番号
 - - - - - 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている都道府県・指定都市
 中核市番号を表示します。

保健所番号 - - - - - リストより選択または半角数字の右詰で、そのまま入力します。

受給者番号 - - - - - 半角数字の右詰で、そのまま入力します。

新規・継続 - - - - - [新規診断]、[転入]、[継続]、[無記入・他] のいずれかを選びます。
 「継続」を選んだ場合、過去最新の意見書の内容を参照表示します。
 必要箇所を変更し、登録することができます。

県単独事業 - - - - - 各都道府県等での単独事業の場合のみ入力します。

患者(ふりがな・氏名) - - - - 各都道府県等で必要な場合のみ入力します。プライバシー保護のため、中央
 へは出力しません。

男 女 - - - - - [男]、[女]、[無記入・他] のいずれかを選びます。

生年月日 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y年m月d日] は半角数字の右詰で、そのまま入
 力します。

発 病 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y年m月頃] は半角数字の右詰で、そのまま入力

します。

- ICD疾患名 (疾患名) - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。下段に表示用疾患名と ICD コードが自動表示されます。
- ICDコード - - - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。表示用疾患名が自動表示されます。
- 暦年齢 歳 ヶ月 - - - - - 半角数字の右詰で入力する。
- 骨年齢 歳 ヶ月 - - - - - 半角数字の右詰で入力します。
- 骨/暦年齢 - - - - - 「骨年月齢」÷「暦年月齢」×100(%)が自動表示されます。
- 身長(. cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
- 3.0SD ・ -2.5SD ・ -2.0SD - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、男女別に「標準身長」の-3.0SD 値、-2.5SD 値、-2.0SD 値が自動表示されます。
- 身長SDスコア(.) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*±に関係なく入力します。9.9以上は「9.9」で入力します。)
- 身長SDスコア - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「身長」を入力することにより、「身長SDスコア」が自動表示されます。
- 体重(. kg) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*99.9kg以上は「99.9」で入力します。)
- 標準体重 - - - - - 「年齢」が自動的に算出できる場合、「身長」を入力することにより「標準体重」が自動表示されます。
(ただし、身長70cm以上~17歳の場合)
- 肥満度 - - - - - 「標準体重」が自動的に算出できる場合、「体重」を入力することにより「肥満度」が自動表示されます。
- カウプ指数 - - - - - 身長70cm未満の場合、「体重」と「身長」を入力することにより「カウプ指数」が自動表示されます。
- 測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。
- 1年前の身長(cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
- 測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。
- 1年前成長率(cm/年) - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*9.9以上は「9.9」で入力します。)
- 補正成長率 - - - - - 1年前と今回の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、日割り計算に基づく「補正成長率(. cm/年)」が自動表示されます。
- 1.5SD - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「骨年月齢」等に基づき、約半年前の成長率の年月齢別標準値の-1.5SD 値(. cm)が自動表示されます。
- 2年前の身長(cm) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
- 測定年月日 - - - - - 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

(*記載のない場合は、「無記入、他」を選択します。)

2年前成長率(**cm/年**) - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*9.9以上は「9.9」で入力します。)

補正成長率 - - - - - 2年前と1年前の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、
日割り計算に基づく「補正成長率(. **cm/年**)」が自動表示されます。

-1.5SD - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「骨年月齢」等に基づき、
約1年半前の成長率の年月齢別標準値の-1.5SD 値(. **cm**)が自動表示
されます。

症候性低血糖 - - - - - [有]、[無]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

二次性徴 - - - - - 同上

父親の身長(. **cm**) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

母親の身長(. **cm**) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

在胎週数 - - - - - 半角数字(2桁)の右詰で入力します。

出生体重(. **kg**) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

出生身長(. **cm**) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

低身長を伴う慢性腎不全

治療期 - - - - - [保存療法]、[透析療法]、[腹膜透析療法]、[血液透析
療法]、[無記入、他] のいずれかを選びます。
(*腹膜透析療法・血液透析療法ともに○の記載がある場合、[透析療法]を
選択します。腹膜透析療法・透析療法ともに○の記載がある場合、[腹膜透析
療法]を選択します。血液透析療法・透析療法ともに○の記載がある場合、[血
液透析療法]を選択します。)

腎機能検査(年 月) - - - 平成に換算した年月を半角数字の右詰で入力します。

Ccr(**ml/min/1.73m²**) - - - 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)で入力します。
(*99以上は「99」で入力します。)

算定法 - - - - - [24時間Ccr]、[2時間Ccr]、[血清クレアチニン値換算]、
[上記、複数に○]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

血清クレアチニン(. **mg/dl**) - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字(2桁)で入力します。
(*9.9以上は「9.9」で入力します。)

BUN(**mg/dl**) - - - - - 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)で入力します。
(*99以上は「99」で入力します。)

3.12 成長ホルモン治療用意見書（継続）医療意見書

登録 小児慢性特定疾患(成長ホルモン・継続)医療意見書 (平成 10年度) □ 県単独事業

都道府県・指定都市・中核市番号 保健所番号 小樽市保健所 受給者番号

新規(○) 新規診断 ○ 転入 ○ 継続 ○ 無記入・他

患者氏名 性別 ○ 男 ○ 無記入 ○ 女 生年月日 ○ 昭和 4年 2月 12日 ○ 平成 (満 6歳 10ヶ月)

発病 ○ 昭和 ○ 平成 6年 3月頃 (満 2歳 1ヶ月) 暦年齢 6歳 5ヶ月

ICD疾患名: ターナー(Turner)症候群 (疾患名): ターナー(Turner)症候群 ICD: Q96

一年間の治療 効果 ○ 有 ○ 有りと思う ○ 判定不能 ○ 無と思う ○ 無 ○ 無記入・他
GH治療と関係あると思われる有害事象 ○ 無 ○ 有 ○ ()内のみ記載有り ○ 無記入
GH治療中の有害事象(上記を除く) ○ 無 ○ 有 ○ ()内のみ記載有り ○ 無記入

経過治療
治療開始前1年間の身長増加(4.3 cm/年) 補正成長率 4.4 cm/年

治療	開始日	約1年前	約半年前	最近
測定年月日	平成 6年 3月 12日	平成 9年 12月 2日	平成 10年 6月 14日	平成 10年 12月 23日
身長	46.3 cm SDスコア 12.1	89.5 cm SDスコア 4.9	92.5 cm SDスコア 4.9	94.0 cm
二次性徴	○ 無 ○ 有 ○ 無記入・他	○ 無 ○ 有 ○ 無記入・他	○ 無 ○ 有 ○ 無記入・他	○ 無 ○ 有 ○ 無記入・他
併用薬	○ 無 ○ 有 ○ 自由記載のみ有り ○ 無記入・他	○ 無 ○ 有 ○ 自由記載のみ有り ○ 無記入・他	○ 無 ○ 有 ○ 自由記載のみ有り ○ 無記入・他	○ 無 ○ 有 ○ 自由記載のみ有り ○ 無記入・他
			補正成長率: 4.2 cm/年	補正成長率: 2.8 cm/年
				体重 12.6 kg 標準体重 11.3 kg 肥満度 +12% 骨年齢 5歳 11ヶ月 推計値 14歳 9ヶ月 平成 21年 2月 (身長SDスコア 4.6)SD 5.1 SD

低身長を伴う慢性腎不全のみ

治療	開始日	約1年前	約半年前	最近
測定年月日	平成 6年 3月 12日	平成 9年 12月 2日	平成 10年 6月 4日	平成 10年 12月 23日
Ccr	13 ml/min/1.73m ²	14 ml/min/1.73m ²	18 ml/min/1.73m ²	19 ml/min/1.73m ²
血清クレアチニン	4.5 mg/dl	4.7 mg/dl	5.2 mg/dl	5.9 mg/dl
BUN	45 mg/dl	48 mg/dl	43 mg/dl	44 mg/dl

診断日: 平成 10年 12月 23日

次の医療意見書を入力

項目別入力方法

平成 年度 ----- 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている年度を表示します。

都道府県・指定都市・中核市番号

----- 「2.1 年度・都道府県等設定」により登録されている都道府県・指定都市
中核市番号を表示します。

保健所番号 ----- リストより選択または半角数字の右詰で、そのまま入力します。

受給者番号 - - - - - 半角数字の右詰で、そのまま入力します。

新規・継続 - - - - - [新規診断]、[転入]、[継続]、[無記入・他] のいずれかを選びます。
「継続」を選んだ場合、過去最新の意見書の内容を参照表示します。
必要箇所を変更し、登録することができます。

県単独事業 - - - - - 各都道府県等での単独事業の場合のみ入力します。

患者(ふりがな・氏名) - - - 各都道府県等で必要な場合のみ入力します。プライバシー保護のため、中央へは出力しません。

男 女 - - - - - [男]、[女]、[無記入・他] のいずれかを選びます。

生年月日 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y年m月d日] は半角数字の右詰で、そのまま入力します。

発 病 - - - - - [昭和]、[平成] を選び、[y年m月頃] は半角数字の右詰で、そのまま入力します。

I C D疾患名 (疾患名) - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。下段に表示用疾患名と ICD コードが自動表示されます。

I C Dコード - - - - - 記入欄右の選択ボタンを押し、選択肢の中から該当するものを選んで入力します。表示用疾患名が自動表示されます。

効 果 - - - - - [有]、[有りと思う]、[判定不能]、[無と思う]、[無]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

GH治療と関係あると思われる有害事象 - - - - - [無]、[有]、[() 内のみ記載有り]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

GH治療中の有害事象 - - - - 同 上

治療開始前1年間の身長増加(. cm/年) - - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*9.9以上は「9.9」で入力します。)

補正成長率 - - - - - 昨年度の補正成長率を自動表示します。

治療開始 - - - - 年 月 日 : 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

身 長(. cm) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

身長 SD スコア : 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「身長」を入力することにより、「身長 SD スコア」が自動表示されます。

二次性徴 : 無]、[有]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

併用薬 : [無]、[有]、[自由記載のみ有り]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

約1年前 - - - - 年 月 日 : 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

身 長(. cm) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

身長 SD スコア : 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「身長」を入力することにより、「身長 SD スコア」が自動表示されます。

二次性徴 : 無]、[有]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

併用薬：[無]、[有]、[自由記載のみ有り]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

補正成長率：最近と約1年前の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、日割り計算に基づく「補正成長率(. cm/年)」が自動表示されます。

約半年前 - - - - 年 月 日：平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

身長(. cm) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

身長SDスコア : 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「身長」を入力することにより、「身長SDスコア」が自動表示されます。

二次性徴：[無]、[有]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

併用薬：[無]、[有]、[自由記載のみ有り]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

補正成長率：最近と約半年前の「身長」と「身長測定年月日」を入力することにより、日割り計算に基づく「補正成長率(. cm/年)」が自動表示されます。

最近 - - - - 年 月 日：平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

身長(. cm) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。

二次性徴：[無]、[有]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

併用薬：[無]、[有]、[自由記載のみ有り]、[無記入、他] のいずれかを選びます。

体重 (kg) - - - - - 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)の右詰で入力します。
(*99以上は「99」で入力します。)

標準体重 - - - - - 「年齢」が自動的に算出できる場合、「身長」を入力することにより「標準体重」が自動表示されます。
(ただし、身長70cm以上~17歳の場合)

肥満度 - - - - - 「標準体重」が自動的に算出できる場合、「体重」を入力することにより「肥満度」が自動表示されます。

カウプ指数 - - - - - 身長70cm未満の場合、「体重」と「身長」を入力することにより「カウプ指数」が自動表示されます。

骨年齢 歳 ヶ月 - - - - 半角数字の右詰で入力します。

身長SDスコア(.) - - - - 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(*±に関係なく入力します。9.9以上は「9.9」で入力します。)

身長SDスコア - - - - - 「年月齢」が自動的に算出できる場合、「男女」、「身長」を入力することにより、「身長SDスコア」が自動表示されます。

推計値 - - - - - 男子156.4cm、女子145.4cmに達する年月齢および平成年月の推計値が自動表示されます。

低身長を伴う慢性腎不全のみ

治療開始 - - - - 年 月：平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

Ccr(ml/min/1.73m²) : 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)の右詰で入力します。
(*99以上は「99」で入力します。)

血清クレアチン(. mg/dl) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* 9.9以上は「9.9」で入力します。)

BUN(mg/dl) : 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)の右詰で入力します。
(* 99以上は「99」で入力します。)

約1年前 - - - - - 年 月: 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。
(* 記載のない場合は、「無記入、他」を選択します。)

Ccr(ml/min/1.73m²) : 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)の右詰で入力します。
(* 99以上は「99」で入力します。)

血清クレアチン(. mg/dl) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* 9.9以上は「9.9」で入力します。)

BUN(mg/dl) : 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)の右詰で入力します。
(* 99以上は「99」で入力します。)

最 近 - - - - - 年 月: 平成に換算した年月日を半角数字の右詰で入力します。

Ccr(ml/min/1.73m²) : 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)の右詰で入力します。
(* 99以上は「99」で入力します。)

血清クレアチン(. mg/dl) : 小数点2位以下は切り捨てて、半角数字の右詰で入力します。
(* 9.9以上は「9.9」で入力します。)

BUN(mg/dl) : 小数点以下は切り捨てて、半角数字(2桁)の右詰で入力します。
(* 99以上は「99」で入力します。)

4 トラブルシューティング

4.1 データベースの最適化

MS-Access に限ったことではありませんが、データベースは使い込むほど無駄な領域が増加して行きます。これにより、徐々にパフォーマンスが下がっていきます。

週一回または最低でも月一回の「データベースの最適化」を行ってください。

できれば毎回、使用前には「データベースの最適化」を心がける事をお勧めいたします。

4.2 データベースの修復

Windows 不調・パソコン不調・停電等による外的要因により、データベースが破壊されてしまう場合があります。一見動いているようでも結果がおかしい時などは、「データベースの修復と最適化」も忘れずに実施してください。

4.3 バックアップのすすめ

前述した「データベースの修復」でも完全に復旧できない場合があります。こうなってしまうと、折角のデータがすべて消えてしまう場合があります。

定期（できれば毎日）的なバックアップをしてください。

詳細につきましては「5. バックアップについて」をご覧ください。

4.4 Windows のメモリーリーク

Windows95 も WindowsNT も、メモリーリークする事が(株)日本マイクロソフトより正式にアナウンスされています。最新のパッチプログラムを充てるようにしてご利用ください。

ただし最新のパッチプログラムも完全ではありませんので、長時間使用する場合には定期的に Windows をリブートしてご利用ください。

(メモリーリークにより、データベースが破壊される場合があります。)

5 バックアップについて

インストールは、Cドライブ（NECではAの場合あり）の「Program Files」フォルダ内の「医療意見書」フォルダにインストールされます。

この内「DD*.MDB」がデータファイル（ファイル名の最初に「DD」のつくファイルで下記一覧を参照）です。バックアップ方法はいろいろ考えられますが、「DD*.MDB」ファイルをコピーし、バックアップデータとして保存する方法が簡単です。

リストア（バックアップを使用してもとの状態に戻すこと）は、バックアップファイルを「医療意見書」フォルダに上書きコピーすれば完了です。

具体的なバックアップの方法は、メディア（例えばMO、FD）によって決まります。

1.MO（光磁ディスク）等の大容量メディアがある場合

医療意見書フォルダをそっくりコピーしてバックアップすると簡単です。
（データファイルのみでも可能です。）

2.FD（フロッピーディスク）の場合

各データファイルが1.44MB以下の大きさの場合は、FDにコピー可能です。各ファイルを各1枚にコピーするか、適宜組み合わせでコピーを実行し、バックアップFDとします。

コピーの方法やバックアップシステム等については、それぞれのマニュアルや参考書を参照してください。

なお、プライバシー保護のため、バックアップしたMOやFDの保管には十分注意してください。

データが記録されているファイル（バックアップする必要があるもの）

DDcommon.mdb
DDakusei.mdb
DDzinsik.mdb
DDzensok.mdb
DDsinskn.mdb
DDnaibun.mdb
DDkougou.mdb
DDtounyo.mdb
DDtaisya.mdb
DDketuyu.mdb
DDkinsik.mdb
DDhormon.mdb

6 参考文献

- 1) 厚生省児童家庭局母子保健課監修：小児慢性特定疾患早見表、平成10年度版。社会保険研究所、1998。
- 2) 加藤忠明・柳澤正義ほか：小児慢性特定疾患登録管理の試行(II)。厚生省心身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の評価に関する研究」平成9年度研究報告書、p8-24、1998。---医療意見書の内容や書き方に関して。
- 3) 加藤忠明・柳澤正義ほか：疾患の登録・集計システムの在り方。厚生省心身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の評価に関する研究」平成9年度研究報告書、p28-59、1998。---コンピュータシステムの概要に関して。
- 4) 加藤忠明・柳澤正義ほか：小児慢性特定疾患名と ICD10 コード。厚生省心身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録管理システムに関する研究」平成9年度研究報告書、p2-26、1998。--ICD10 コード順の疾患名に関して。
- 5) 加藤忠明・田中敏章ほか：小児慢性特定疾患登録時の自動表示・解析内容。厚生省心身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の登録管理システムに関する研究」平成9年度研究報告書、p27-46、1998。---コンピュータ内の自動計算に関して。

小児慢性特定疾患
登録・管理システム
Ver 1.1
操作説明書

初版：平成 11 年 2 月 15 日

連絡先：

■ 〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8
日本子ども家庭総合研究所
母子保健研究部
加藤 忠明
斎藤 進

TEL: 03-3473-8311 (代)

FAX: 03-3473-8408

URL: <http://www.aiiku.or.jp/>

<mailto:syoinfo@aiiku.or.jp>

■ 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-6-4
(株)エヌ アイ デイ

平成10年度厚生科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業）
分担研究報告書

マス・スクリーニングで発見された症例の追跡調査に関する研究

分担研究者： 青木菊麿、女子栄養大学小児保健学教授
研究協力者： 猪股弘明、帝京大学医学部小児科助教授
： 藤枝憲二、北海道大学医学部小児科講師

研究目的

我が国における新生児マス・スクリーニングは1977年から実施されており、発見された症例はスクリーニング開始当初から母子愛育会が事務局となって追跡調査されている。集められた症例のデータは母子愛育会総合母子保健センターの特殊ミルク事務局にデータベースとして保存されており、それに基づいてフェニルケトン尿症の治療指針の改善、ヒスチジン血症のスクリーニングからの削除、症例の身体発育値や就学状況の調査などが実施されてきた。最近ではマターナルPKUが注目されている。このような経緯から、スクリーニングで発見された症例の追跡調査は今後のスクリーニングのあり方に対して必要不可欠なものであり、今後引き続き追跡調査を実施していくことが重要な課題であるとともに、それによってマススクリーニング本来の目的と効果を一層高めることになると考えられる。

研究方法

小児慢性特定疾患の登録に関する目的で、一部の保健所に申請された医療意見書886例中、新生児マス・スクリーニングで発見された症例はクレチン症17例、先天性副腎過形成症2例、およびフェニルケトン尿症3例であった。これらの症例について、これまで母子愛育会総合母子保健センター特殊ミルク事務局で行ってきた追跡調査の

内容との整合性を調査した。

結果と考察

表に示すように、新生児マス・スクリーニングで発見され、医療意見書から把握できたクレチン症は17例であったが、このうち2例（19941014、19971103）は愛育会での追跡調査に登録されていたが、その他の15例は未登録であった。

先天性副腎過形成症2例は愛育会には登録されていなかったが、フェニルケトン尿症3例については2例が既に愛育会に登録されており、1例は1998年度出生の症例であるため今年度に登録される予定の症例であった。

結論

新生児マス・スクリーニングで発見され、小児慢性特定疾患の登録から追跡調査の手掛かりが得られた症例はわずかであった。しかしこの方法が周知徹底されて多くの症例が追跡できるようになれば、今後の追跡調査に有効な手段と考えられた。小児慢性特定疾患の医療意見書の代わりに、申請時に母子愛育会で現在使用している追跡調査表（資料参照）に直接記入を依頼すれば、追跡調査の効率は一層向上するものと期待されるので、今後関係各部署に働きかけていきたいと考える。